



たいこうせつもくそうかい
待降節默想会(12月14日)「司祭の靈性」

みかさきょうかい しゅにんしさい まりの ではくと
三笠教会 主任司祭 マリノ・デハクト

ふくいん よ
I. 福音を読むこと

せいじえろーにも せいしょ し
聖ジェローニモによると、聖書を知らない
いえ すさま し
ことは、イエス様を知らないということです。
ひと したが ひと あい
ある人に従い、あるいは人を愛したいと
のぞ ひと し
望むならば、まず人を知らなければなりません
いえ すさま し あい きかい
ん。イエス様を知り、愛したければ、機会があ
せいしょ よ
るたびに聖書を読まなければなりません。
きりすとしんじや ふくいん よ
キリスト信者にとって福音を読むことは、
にちじょうせいかつ いちぶ しんじや
日常生活の一部です。おそらく、信者はそ
まな い
れを学ばなければならぬと言ったほうが
たん しんじや
いいのですが、単に信者はそれを
よ い
読まなければならぬとだけ言うこともでき
おも ちてき くんれん いの
ます。つまり主に知的な訓練ではなく、祈り
こうい ふくいん よ もぐてき かみ
の行為です。福音を読む目的は、神を
あい ないてき しょうどう え かみ
愛するための内的な衝動を得ること、神を

ふかし おさなご
より深く知ることです。幼子のように、
わたし じゅうじゅん こころ よ おし
私たちは従順な心で読み、その教えを
ういそな せいしょ けんそん
受け入れる備えをすべきです。聖書が謙遜
こころ よ たし
な心で読まれるならば、確かに、それは
よ けっか あた
良い結果を与えるでしょう。

せいしょ わたし いえ すさま
また聖書をよむことで、私たちはイエス様
ひとり にんげん し
を一人の人間として知ることになります。
いえ すさま つみびと でし ぎぜんしや
イエス様が罪人、弟子たち、偽善者たちと
まじ ようす いえ すさま にんげんせい
交わる様子によって、イエス様の人間性の
とくちょう ふくいん まな でき
特徴を福音から学ぶことが出来ます。この
とくちょう きりすとしんじや せんきょう
ような特徴も、キリスト信者にとって、宣教
かつどう おこな うえ ひじょう じゅうよう わたし
活動を行う上に非常に重要です。私たちは
まわ ひと まじ うえ しゅ
周りの人たちと交わる上でその主のように
こうどう いえ すさま しんせい
行動しなければなりません。イエス様の神聖
にんげんせい わたし しんこうせいかつ
な人間性は、私たちの信仰生活において、

非常に重要です。私たちがイエス様を模倣することができないことが不可能ではないと理解することが出来るのは、この聖書を読む信心においてです。イエス様が弟子たちや友人たちの関係を取り扱う方法は、愛の実践の完璧な模範です。イエス様を模倣するために、毎日福音を読む信心を日常生活に入れるべきです。

II. 聖体への崇敬

イエス様は次のように述べています。「私が来たのは彼らが命を受けるため、しかも豊かに受けるためである。」ヨハネ10:10。そして「私は命のパンである」ヨハネ6:48

誰も、養われることなく生き続けることは出来ません。確かに、聖体なしで私たちの信仰生活を支えて、新たにすることは不可能です。司祭、信者たちの信仰生活に関することでは、エウカリスチアは繰り返し、信仰生活の焦点として考えられています。それらは、私たちがその役務を達成するため必要とするあらゆる恩恵の源と考

えられています。私たちはミサに与る際、主の現存を常に意識する必要があります。私たちは確かにミサの偉大さと信仰生活に受けた効果を理論的には理解しています。しかし、日常の忙しさと不安のため、それを忘れてしまう恐れがあります。このよ

うな問題を避けるために、私たちは秘跡を受ける時、いつも正しい態度を維持しなければなりません。イエス様は、「人の子の肉を食べ、その血を飲まなければ、あなたたちの内に命はない。」ヨハネ6:53と言われました。だから司祭たちは毎日それを受けているからこそ、エウカリスチアと最も密接な関係を持っていると言われています。でも教会は司祭だけではなく、皆さんも、可能であればご聖体をたびたび受けることを強く勧めています。

III. 祈り

祈りの最も単純な意味は、神に語りかけることです。それは、お互いの理解を深めようとする二人の友人の間の会話のようです。祈りなしには、人は神を友人として、あるいは、父として見ることは出来ないでしょう。キリスト者である私たちにとって、祈りは信仰生活の基礎です。祈らないということは、根のない植物のようなのです。愛が実践されるためには確かに行いを必要とします。しかし、日常業務のため、祈りを忘ることは許されません。私たちは一日を通して神様の存在を常に意識するために、毎日祈り、振り返る時間を見つけなければなりません。

りろんてき いの もっと ようい おこな
理論的には、祈りは最も容易な行いです。
かみさま いた ところ そんざい
神様は至る所に存在しておられます。です
わたし いちにじゅう とき
から、私たちは一日中いかなる時でも
かみさま よ でき ねっしん
神様に呼びかけることが出来ます。熱心に
いの ふか しがくべき ちしき も ひつよう
祈るために深い神学的な知識を持つ必要
じゅうよう かみさま
はありません。重要なことは神様のほうへ
こころ せいしん かたむ かみさま とも す
心と精神を傾け、神様と共に過ごすこと
でき いの わたし
が出来ることです。また、祈りは私たちの
のぞ ねが
望んでいることがかなうよう願うのではなく、
わたし おも かみさま むね いっち
私たちの思いが神様のみ旨と一致するよう
ねが いえ すさま じぶん しめい
に願うことです。イエス様が自分の使命を
はじ とき ひじょう いそが
始めた時、非常に忙しかったことを
おも お まる こ ふくいんしょ
思い起こしましょう。マルコ福音書では、
しゆ い
主はこのように言っています。「さあ、あなた
ひととはな ところ い
がただけで人里離れた所へ行って、しばらく
やす い でい ひと
く休むがよいと言われた。出入りする人が
おお しょくじ ひま
多くて、食事をする暇もなかったからであ
まる こ ふくいん いえ すじしん
る。」マルコ6:31。福音によれば、イエス自身
いの ひととはな ところ しりぞ
も祈るために人里離れた所へ退いたこと
わ いえす
が分かります。「しかし、イエスのうわさはま
ひろ おおぜい ぐんしゅう おし
すます広まつたので大勢の群衆が教えを
き びょうき いや
聞いたり、病気を癒していただいたりするた
あつま いえす ひととはな
めに集ってきた。だがイエスは人里離れた
ところ しりぞ いの るか
所に退いて祈っておられた。」ルカ5:15-
16。私たちは祈るための時間を作るべきで
いただ しめい み むす いの
す。頂いた使命が実を結ぶために祈りが
ひつよう
必要ですから。

ゆうじょう
IV. 友情
きりすとしや わたし ほか ひと
キリスト者である私たちは他の人たちと
おな おそ よろこ やす ふあん
同じように恐れ、喜び、安らぎ、不安などを
かん だれ こじんてき いけん のぞ
感じます。誰であっても個人的な意見、望み、
ひみつ はな あいて ひつよう
秘密でさえも話せる相手が必要です。しかし、
しんこうせいかつ だれ じぶん なや
信仰生活になると誰かに自分の悩んでいる
はな でき
ことを話すことが出来ません。このことは、
かみさま ちか でき しんこうしゃ
神様だけが近づくことが出来る信仰者の
い かた しんこうしゃ もっと
生き方です。さもなければ、信仰者の最も
きほんてき とくせい かみ しんこう かんかく うしな
基本的な特性や神との信仰の感覚を失う
きけん しんこう なや
危険があります。信仰について悩んでいる
しんじや なぐさ ひと おな しんこう
信者を慰める人がいるならば、同じ信仰を
も ひと なか
持っている人たちの中からでなければなり
しさい ばあい しさいだん だいに
ません。司祭の場合は司祭団からです。第二
ば ち か んこうかいぎ か
バチカン公会議は、こう書かれています。
れいてき ちてきせいかつ ふか たが
「靈的および知的生活を深めるよう互いに
たす あ えきむ うえ きょうりょく
助け合うため、また役務の上での協力が
てきせつ こどく
いっそう適切なものにするため、さらに孤独
お きけん さ りゆう
から起こりうる危険を避けるためなどの理由
しさい あいだ しゅ きょうどう
から、司祭たちの間に、ある種の共同
せいかつ きょうゆうせいかつ しょうれい
生活または共有生活が奨励される」。ま
ゆうじょう きりすと きょうかい ちゅうじつ
さに、友情はキリストと教会への忠実と
しさい れいてきせいかつ ささ でき
いう司祭の靈的生活を支えることが出来る
いみ ゆうじょう ただ りかい
という意味です。友情が正しく理解される
いえ すさま おし
ということは、イエス様が教えてくださった
あい じっせん いちど
愛を実践することなのです。「一度

そむ きょうだい とりで
背かれれば、兄弟は砦のようにいさかい
しろ
をすれば、城のかんぬきのようになる。」
しんげん すく れきし かみさま
箴言 18:19。救いの歴史において、神様は
じんるい すく にんげん どうぐ
人類を救うためにいつも人間を道具として
つか だれ たす ひつよう
使っています。これは、誰もが助けを必要と
いみ わたし
していることを意味します。つまり私たちは
ほか ひと たす ひつよう
他の人たちから助けてもらうことが必要です。

Ⅴ. 靈的読書

れいてきどくしょ もくでき かみさま
靈的読書の目的は、神様についてより
ふか りかい わたし だれ
深く理解するためです。もし私たちは誰か
よし かれ あい
のことを良く知っているなら、彼を愛するの
むずか かみさま
はそんなに難しくないです。また、神様につ
おな かみさま よし
いても同じです。神様を良く知つていれば
し しゆ あい でき
知つてはいるほど主を愛することが出来ます。
にんげん ちせい あた そうぞう
人間は知性を与えられているので、創造
ぬし し つか
主を知るためにそれを使わなければなりません。
たまもの じゅうよう にんげん
せん。この賜物は重要であり、人間を
のぞ ちせい あた い もの
除いて知性を与えられた生き物はないから
かみさま にんげん こころ つ あい
です。神様が人間に心を尽くして愛するこ
のぞ とうぜん いえすさま
とを望んでいるのは当然です。イエス様がこ
い こころ つ せいしん つ
う言いました。「心を尽くし、精神を尽くし、
おも つ かみ しゆ
思いを尽くして、あなたの神である主を
あい またい ちせい こんげん
愛しなさい。」マタイ 22:37。知性の根源は
しんり いえすさまじしん いえすさま
真理であり、イエス様自身です。イエス様につ
しそう きりすとしや わたし
いての思想はキリスト者である私たちにとつ
たま まな
て絶え間なく学ばなければならぬものです。

しさい なんねん しんがく べんきょう
司祭たちは何年も神学を勉強しても、
かんぜん かみさま わ
完全に神様のことを分かったというわけでは
ありません。

れいてきどくしょ とき わたし たいど
靈的読書をする時、私たちはどんな態度
み むす
でやっているのかによって実を結びます。
わたし よ ほん ないよう こころ なか
私たちは読んでいる本の内容が心の中に
はい ていねい よ だいじ
入るように丁寧に読むことが大事です。
わたし どくしょ とお れいてき かわ
私たちは読書を通して靈的な渴きを
み のぞ
満たされますように望んでいるからです。ま
どくしょ み むす けんそん たいど だいじ
た読書が実を結ぶために謙遜な態度が大事
どくしょ もくでき あたら しそう まな
です。読書の目的は新しい思想を学ぶことだけではなく、信仰生活がより良くなるためなのです。このことは心に留めなければなりません。私たちは頂いた使命を全うするためにイエス様のように考え、行動するべきです。でもこれは自動的なものではないのです。靈的読書によって必要な恵みが与えられます。

VI. 聖母マリアへの信心

せいぼまりあ しんじん わたし しんこうせいかつ
聖母マリアへの信心は、私たちの信仰生活
たいせつ いえすさま
においてとても大切です。イエス様は、
ごたいない とき せいぼまりあ やさ ほご
ご胎内にいた時、聖母マリアの優しい保護に
たよ せいまりあ むすこ したが
頼りました。聖マリアは、息子に従っている
ひと よ わ
人たちのことも良く分かっています。だから
かのじよ すべ きりすとしや はは い
彼女は全てのキリスト者の母だと言われています。ヨハネの福音書ではイエス様が

じゅうじか つ とき いき ひと
十字架に付けられた時、息を引き取られる
まえ はは い ふじん ごらん
前にみ母に言いました。「婦人よ、御覧なさ
こ でし
い。あなたの子です。それから弟子に
い み はは
言われた。見なさい。あなたの母です。」
よはね ことば せいは
ヨハネ19:26-27。この言葉によって聖母
まりあ わたし はは りかい
マリアが私たちの母だと理解しています。
わたし せいは こども かのじよ
私たちは聖母の子供たちであるならば彼女
もはん みなら とうぜん まりあさま
の模範から見習うことが当然です。マリア様
どうとく けんそん じゅうじゅん ていけつ たいど
の道徳、つまり謙遜、従順、貞潔な態度を
もほう
模倣しなければなりません。そうなると
わたし こうき はは こども
私たちがこの高貴なみ母にふさわしい子供
まりあさま とお
たちになります。またマリア様を通して
わたし いえ すさま よし
私たちはイエス様のことをより良く知ること

ははいじょう むすこ し
になります。母以上に息子のことを知つてい
もの まりあさま かけ
る者はいないからです。マリア様のお陰と
とつ しゆ したが
取り次ぎによって主に従うことはたやすく
なります。
ろざりお つ いの いがい せいは
ロザリオ、お告げの祈り以外にも聖母
まりあ しんじん
マリアへの信心がたくさんあります。もし
わたし いの にちじょうせいかつ
私たちがこれらの祈りを日常生活に
い かのじよ わたし
入れることができれば、彼女はいつも私たち
と かな こん
のために取りなしてください。力ナの婚
えん お きせき せいは とつ
宴で起こった奇跡のように聖母の取り次ぎ
わたし じぶん よわ はじ
によって私たちが自分の弱さによる恥から
すぐ
救われます。

あたら うた
新しい歌をうたおう！
みかさきょうかいさいせい ぶろじえくと
..... 三笠教会再生プロジェクトやろうよ！

ふくいんせんきょうぶかい
福音宣教部会
きょうかいいいんかい
教会委員会

しんじやあんけーと にほんじんこみゅにてい しょうしこうれいか きょくげん たつ
信者アンケートをやつたら、日本人コミュニティの少子高齢化が極限に達していることがわ
こくさいか ざいせい しせつ かだい ふく ききてき みと え
かりました。国際化や財政・施設の課題を含め、危機的であると認めざるを得ません。みんな
う みかさきょうかいさいせい
が生まれかわることをめざそうということになりました。みんなで「三笠教会再生
ぶろじえくと ねん みかさきょうかいさいせい とし ねが
プロジェクト」やりましょう。2026年が「三笠教会再生」の年になることを願っています。

たの みかさきょうかい

わいわい楽しい三笠教会やろうよ！

じ す ぎ ひと こ きょうかい

12時過ぎになると人っ子ひとりいなくなる教会やめようよ。

たの いえ す しょくじかい

楽しくなければイエスの食事会じゃないよ。

たの みかさ げつ にちようび いべんと さいくるはじ

楽しい三笠教会の1か月の日曜日のイベント・サイクル始めようよ。

み さ かえ こみゅ に て い か つ ど う

ミサだけで帰るんじゃなくて、コミュニティ活動やってみようよ。

う

みんなもういちど生まれかわろうよ！

わ か せ だ い か き ょう か い

若い世代がほとんど欠けている教会やめようよ。

いま

あなたが今ここにいてほしいんだよ。

わ か も の こ う れ い し ゃ ぜ ん せ だ い こ み ゆ に て い さい せ い

若者から高齢者まで全世代のコミュニティを再生しようよ。

う

せ だ い こ う たい

みんな生まれかわってなんとか世代交代やってみようよ。

で き ょう か い し み ん あ ゆ き ょう か い

出かける教会、市民とともに歩む教会になろうよ！

ねん よこすか まち ぱれ ぜんと き ょう か い

2026年の横須賀の街にまったくプレゼントしていない教会やめようよ。

がりら や さんか いえ す き ょう か い

ガリラヤに参加していなければイエスの教会じゃないよ。

し み ん か つ ど う た い け ん て き ま な

市民活動から体験的に学ぶしくみつくろうよ。

し み ん か つ ど う さ ん か

みんなで市民活動になんとか参加してみようよ。

め お た か お
(名生尚雄)

がつきようかいいいんかいほうこく

12月教会委員会報告

き ょう ぎ け ん と う じ こ う

I. 協議・検討事項

みかさきょうかい かだい けんとう たいしょほうしん

(1)三笠教会の課題の検討と対処方針

ぜんげつ いいんかい ていしゅつ ていあん もと けんとう い か みかさにゅーすけいさいきじ
前月の委員会に提出された提案を基に検討する。以下、三笠ニュース掲載記事

ぱつすい

より抜粋。

みかさきょうかい かだい けんとう たいしょほうしん いいんかい みかさきょうかいさいせい
三笠教 会の課題の検討と対処方針について委員会にて『三笠教 会再生
ぶろじえくと だい いか ていあん ていじ
プロジェクト』をめざして』と題しまして以下の提案が提示されました。

ていあん がいよう

【提案の概要】

しんじやあんけーと けっか にほんじんこみゅにてい しょうしこうれいか きょくげん たつ
信者アンケートの結果、日本人コミュニティの少子高齢化が極限に達している
あき いっぽう みかさきょうかいぜんたい こくさいか
ことが明らかになりました。一方、三笠教 会全体としては国際化がいっそう
すす ざいせい しせつ かだい たし
進んでいますし、財政・施設の課題があることも確かです。

ねん む う もと
2026年へ向けてみんなが生まれかわることが求められています。いくつか
かだい あき
課題が明らかになっています。

1. わいわい楽しい三笠教 会やろうよ！

じす ひとこ きょうかい
12時過ぎになると人っ子ひとりいなくなる教 会やめようよ。

2. みんなもういちど生まれかわろうよ！

わか せだい か きょうかい
若い世代がほとんど欠けている教 会やめようよ。

3. 出かける教 会、市民とともに歩む教 会になろうよ！

ねん よこすか まち ぶれぜんと きょうかい
2025年の横須賀の街にプレゼントしていない教 会やめようよ。

ねん む かだい と く ちーむ つく
2026年に向けて、これらの課題に取り組めるチームを作つて、
さっそく ねん がつ すたーと き かんが
早速2026年1月からスタートを切りたいと考 えます。

(2) 委員の交代について(2026年)

まつや まつしま たけうち なかやま
松谷、松島、竹内、中山

のみねーといいん めいていど せんしゅつ
⇒・ノミネート委員3名程度を選 出する

のみねーといいんこうほ いらい

・ノミネート委員候補に依頼

のみねーといいんかい いさい

・ノミネート委員会開催、

のみねーといいんかい けっか きょうかいいいんかい ほうこく がつじょうじゅん
・ノミネート委員会の結果を教 会委員会に報告(1月上旬)、

がつじょうじゅん こうほしゃ かくやく めい しゅうにん いらい

1月上旬から候補者(各役4名)に就 任を依頼する。

(3)信徒報告会の開 催時期について

みさご よてい
2月22日(日)ミサ後に予定。

ほうこくじこう II. 報告事項

(1)マリノ神父様不在の予定と大水神父様によるミサのお知らせ

まりのしんぶさまふざい よてい おおみずしんぶさま みさ し
マリノ神父様が以下の期間に不在となります。よって、当該の期間におきましては、朝
みさ
ミサはありません。

ふざい きかん
【不在の期間】

2月23日(月)～3月6日(金)

しじゅんせつだい しゅじつ みさ おおみずけいいちしんぶさま こべんつあるせい
※3月1日(日)四旬節第2主日のミサは、大水恵一神父様(コベンツアル聖
ふらんしそこかい ねが
フランシスコ会)にお願いしてあります。

(2)堅信式

ねん しきょうさま けんしんしき みかさきょうかい おこな
2026年12月6日(日)に司教様による堅信式が三笠教会で行われます。
けんしん む べんきょうかい がつこう かいし よてい
堅信に向けての勉強会は9月頃より開始する予定です。

(3)1月11日(日)のミサについて

にち みさ がいこくせき かたがた とも ささ みさ いぜん みかさきょうかい
1月11日(日)のミサは、外国籍の方々と共に捧げるミサとなります。以前、三笠教会
みさ じよさい はたら ふんしんぶさま くんしんぶさま じよかいご はつみさ
のミサに助祭として働いてくださったフン神父様とクン神父様が叙階後の初ミサを
ささ くだ
捧げて下さいます。

(4)寿町への支援(共同宣教司牧)

よこはまだい ちく かみ あい つた ぶもん かつどう よこはまことぶきょう こめ しえん
横浜第4地区「神の愛を伝える」部門の活動としての横浜寿町へのお米の支援と
もうふ しえん がついこう ひ つづ きょうりょく ねが
毛布の支援については、1月以降も引き続き協力をお願いする。

- ① お米 1合からでもかまわない、事務所前の空箱に入れて頂く。
- ② 毛布 事務所にて受け付ける。

III. 典礼暦と行事・活動(1月以降の予定)

にちようびいがい あさ みさ いか よてい ささ さいしゅうけつい
※日曜日以外の朝のミサは、以下の予定にて捧げられます(最終決定)。

げつようび かようび もくようび どようび じ
○月曜日、火曜日、木曜日、土曜日 8時から

だい しゅうめ かようび つき こと つき さいしゅうしゅう かようび
※ただし、第2週目の火曜日と、月によって異なりますが月の最終週の火曜日
(第4週または第5週)は、朝のミサはありません。

すいようび きんようび じ ふん
○水曜日と金曜日 9時15分から

あさ みさ な あさ みさ かいし
※1月1日(木)～1月3日(土)の朝ミサは無し。1月5日(月)より朝ミサ開始。

かみ ははせいまり あ みさ
1月 1日(木)神の母聖マリアのミサ(11:00～)

しゅ こうげん
4日(日)主の公現

しゅ せんれい きょうかいいいんかい てんれいぶかい
11日(日)主の洗礼 教会委員会、典礼部会

ねんかんだい しゅじつ きょうかいがっこう せいじん ひ いわ しんねんかい
18日(日)年間第2主日 教会学校、成人の日のお祝いと新年会

ねんかんだい しゅじつ えいごみさ
25日(日)年間第3主日 14:00英語ミサ

いの かい
28日(水)祈りの会

ねんかんだい しゅじつ

きょうかいいいんかい てんれいぶかい
教 会 委 員 会、典 礼 部 会

ねんかんだい しゅじつ
8日(日)年間第5主日

きょうかいがっこう
教 会 学 校

ねんかんだい しゅじつ

15日(日)年間第6主日

はい すいようび しじゅんせつ たいさい しょうさい あさ じ ふん

18日(水)灰の水曜日(四旬節)(大斎・小斎) 朝9時15分より

しじゅんせつだい しゅじつ
22日(日)四旬節第1主日

えいごみさ

14:00英語ミサ

もくそうかい さんか
默想会に参加して

いちききょうこ
市来京子

たいこうせつ もくそうかい て 一 ま しさい れいせい わたし しんと む こうわ
待降節の默想会のテーマは「司祭の靈性」についてでした。私 たち信徒に向かっての講話に
なるのですが、まずキリスト者としての六つのミッショナリが示されました。

いえす にんげんせい りかい ふくいん よ しゅじつ へいじつ みさ たびたびあず せいたい
イエスの人間性を理解するために福音を読むこと。主日、平日のミサに度々与かり、ご聖体
はいりよう おお めぐ う かみ こころ む おも かみ おも いっち
を捧 領して多くの恵みを受けること。神に心 を向け、わたしたちの思いが神の思いと一致
いの ひび しんこうせいかつ で あ さまざま たいけん はな ゆうじん たす あ
するよう祈ること。日々の信仰生活で出会う様々な体験を話せる友人と助け合うこと。
れいてきどくしょ かみ ふか りかい せいぼまりあ しんじん まりあ もはん しんこう
靈的読書により、神をより深く理解すること。聖母マリアへの信心、マリアを模範として信仰
せいかつ ゆた しんこうせいかつ しんと いの しさい ささ
生活を豊かにすること。このような信仰生活をおくる信徒の祈りにより、司祭は支えられて

いるということ。

しんぶさま えいご まじ ふ いり びん かたがた いっしょ き しんぶさま ことば
神父様の英語を交えながら、フィリピンの方々と一緒に聴きました。神父様の言葉はわかり
こころ すとれーと はい がつ はじ いの かい しんとどうしいの
やすく、心 にストレートに入ってきました。7月から始まった「祈りの会」では信徒同士祈り、
へいじつみさ さんか ふ おも じぶん しんこうせいかつ ふ かえ しんとひとりひとり
平日ミサへの参加も増やしたいと思います。自分の信仰生活を振り返り、信徒一人一人が
まりのしんぶさま れいせい なら しょうきょうく あゆ もの い よ おも
マリノ神父様の靈性に倣い、小 教 区としてともに歩む者になって行ければ良いと思いま
た。

もくそうかい さんか
默想会に参加して

おの はるこ
小野 治子

ひ こうわしや まりのしんぶ しんぶ わ やす はなし お つ みみ かたむ
この日の講話者はマリノ神父さま。神父さまの分かり易いお 話 に、落ち着いて耳を傾 け
むかし つねづねがいこくじんしんぶ がた にほんご せっこう こうわ
ることができました。昔 ？！から常々外国人神父さま方が日本語で説教 や講話をし、
ぶんしょう か そんけい ねん いだ じょうねつ ゆえ しんぶ がた
文 章 を書いておられることに尊敬の念を抱いてきました。その情 热 の故にか、神父さま方
ことば す 一 つ こころ はい たびたび たむずか にほんごがくしゅう
の言葉がスースと 心 に入ってくることも度々ありました。難 しいとされる日本語学習 や
ことば かべ くろう かみ たす くだ
言葉の壁に苦労されたこともおりだったでしょうが、きっと神さまがそのたびに助けて下

がいこくご しゅんじ ほんやく じだい まちが
さったのですね。外国語が瞬時に翻訳される時代になりましたが、たとえ「てにをは」が間違つ
たいめん ほう しんい つた き ていても対面の方が真意は伝わるような気がします。

きよう しさい れいせい はなし しんこうせいかつ ゆた じっせん
さて、今日の「司祭の靈性」についてのお話。信仰生活を豊かにするために実践すべきこ
ふくいん よ せいたい すうけい いの ゆうじょう れいてきどくしょ せいぼまりあ しんじん きょうかいほう
とは、福音を読む、聖体への崇敬、祈り、友情、靈的読書、聖母マリアへの信心。教會法に
しさい ぎ む いっぽんしんと こと ぶぶん はな こうもく
ある司祭の義務と一般信徒のそれとは異なる部分もあると話されましたが、これらの項目は
きりすとしゃ せいかつ あ じぶん しんと
キリスト者の生活に当てはまるものばかりで、自分の信徒としての QOL(quality of life)
しんこうせいかつ みなお よ きかい かんしや
信仰生活を見直す良い機会になりました。感謝です。

.....

ねんど だい かいよこはまきょう く いちりゅうかいだいよん ち く いいんかい ぎじろく 2025年度 第2回横浜教区一粒会第四地区委員会 議事録

かいさいにちじ

開催日時：2025年11月15日(土) 13:25~14:20

ばしょ ずしきょうかい

場所：逗子教会

しゅっせきしゃ やすひさしんぶさま ふかぼり のざわ いわま おいかわ くりはら やまと いしわた おきた こにし まつおか
出席者：保久神父様、深堀、野沢、岩間、及川、栗原、山本、石渡、沖田、小西、松岡

ぎだい

議題

ほんぶいいんかいほうこく

① 本部委員会報告

しきょうさま かとりっくしんがくいん じょうにんいいん はず がくむたんとう ちてきようせいたんとう

・司教様は、カトリック神学院の常任委員は外れたが、まだ学務担当、知的養成担当はし

きょうし かくほ むずか ざいむかんけい ひ つづ おこな

ている。教師の確保がとても難しい。財務関係も引き続き行っている。

しんがっこう せいとすう へ めい ながさきだいしきょう く にん よこはまきょう く めい

・神学校の生徒数が減り、13名しかいない。長崎大司教区は0人。横浜教区は5名いる。

いちりゅうかい せいしょうねんいいんかい かつどう おも

ひとえに一粒会と青少年委員会の活動のおかげと思っている。

かとりっくしんがくいん のうにゅうきん まんえん だ よこはまきょう く

カトリック神学院への納入金は3,000万円ちょっと出しているが、横浜教区はもっと

だ

出さないといけなくなるかもしれない。

いちりゅうかいたいかいほうこく

② 一粒会大会報告

かいじょう ねん ごうら かんれいしら ゆりがくえん でんしゃ こ おも はや で

・会場は12年ぶりに強羅の函嶺白百合学園だった。電車が混むと思って早く出たのだ

すむ 一 ず つ せんかい ある ふあん こんかい えき かいじょう

が、スムーズに着いた。前回は歩くことに不安がなかったが、今回は駅から会場までの

さか ひざ いた かん つぎ く むり おも がっこう なか けっこう
坂が、膝が痛いためにつらく感じ、次に来るのは無理だと思った。学校の中も結構
のぼ くだ ところ おお こうれいしゃ あしこし わる
上ったり下ったりする 所 が多かったので、高齢者で足腰の悪い人にはつらいのではと
かん たいいくかん ひろ おおぜい ひと こども ぶろぐらむ おおぜい
感じた。体育館はとても広く、大勢の人でいっぱいだった。子供プログラムもあって大勢
こ さんか おおぜい しんぶさま みさ いつしょ さんか まえ で
のお子さんが参加していて、大勢の神父様とのごミサにも一緒に参加し、前に出て
うた おとな こども さんか よ おも いちりゅうかい
歌つたりして、大人も子供も参加して良かったと思える一粒会だった。

しきょうさま はな おも ないよう きょう なに い こころ
・司教様のお話しがなかなか重い内容で、「今日から何ができるの?」と言われたのが心に
のこ ちい いの つづ
残っていて、それから小さいお祈りをちょっとずつ続けている。

こうない ある きび はなし よ
・校内を歩くのがなかなか厳しかった。お話はとても良かったし、わかりやすかったし、あま
じかん なが よ おも いま ことば
り時間も長くなかったので、ちょうど良かったと思った。「今でしょ!」という言葉が
いんしようてき めい さんかしや ひさ ちが けん ひと あ こと
印象的だった。800名くらい参加者がいたので、久しぶりに違う県の人と会う事ができ
いす しり いた
た。パイプ椅子だったのだが、なぜかお尻が痛くなかった。

おひる はん そと た よ ぐらうんど かいだん しつない た こころ
・お昼ご飯を外でのんびり食べられたのが良かった。グラウンドや階段、室内でも食べる所
ひさ ぐらうんど くるまざ た よ
があった。久しぶりにグラウンドで車座になって食べたのが良かった。

だいろくちく かた かんたん ほうこく さんかしや ごうけい めい しきょうさま にん しさい めい
・第六地区の方からの簡単な報告があった。参加者は合計788名。司教様2人、司祭38名、
いっぽんさんかしや めい こども にん ふく じっこういいん きょうりょくいいん めい じょうほうていきょう
一般参加者が 602名(子供50人を含む)、実行委員、協力委員が 117名、情報提供
しゅわ ようやくひっさ めい がっこうせいと めい きょういん めい
(手話、要約筆記)9名、学校生徒12名、教員8名。

けんきんがく えん けいひ しゅうけいちゅう
献金額は 574,812円。経費は集計中。

こども ぶろぐらむ えほん かみさま き いま じぶん で き ねが いの
・子供プログラムで絵本「神様のゆめ」を聞き、今の自分たちに出来ることや願い、祈りを、
かみさま てがみ か かんれいしらり がくせい えいやく てがみ さっし
神様にあてて手紙を書き、それを函嶺白百合の学生さんがすぐ英訳して、その手紙を冊子
ばちかん おく たんとう かた い ねつい かん
にまとめ、それをバチカンに送りたいと担当の方が言っていて、すごく熱意を感じた。また
あーめんはれるや きよく しゅわ れんしゅう みさ とき しゅわ うた
「アーメンハレルヤ」の曲の手話も練習して、ミサの時、手話をしながら歌っていたのが
いんしようてき
印象的だった。

じかいいいちりゅうかいたいかい

次回一粒会大会…2026年11月3日(火・祝) 都筑教会聖堂(神奈川第二地区)

つづききょうかい はい にんずう めい しさい すたつふ めい めい
・都筑教会だと入れる人数が 400名くらい。司祭とスタッフで 100名。300名を 16
しようきょうく わ にん しようきょうく にん
小教区で割ると 20人。小教区7つだと 3人くらいになるだろう。

おおがたばすまいくろばすちゅうしやできじょうようしやしづおかながのばすおおせい
 • 大型バス、マイクロバスは駐車出来ない。乗用車のみ。いつも静岡、長野からバスで大勢
 きじかいでき
 来ているのだが、次回はそれが出来ない。

こうしすずきまことしんぶさまえほんよきこどもむこうぎかんがこども
 • 講師は鈴木真神父様。絵本の読み聞かせなど子供向けの講義を考えているので、子供の
 さんかねがことじかいじはんうけつけしゅうりょうじよてい
 参加をお願いしますという事だった。次回は12時半受付で終了が16時を予定している。

③ 10月19日(日)「召命の祈りとミサ」報告

まりのしんぶさまじぶんはなしよふいりびんにほんき
 • マリノ神父様がご自分のお話をされたのが良かった。フィリピンから、日本には来たくなかったけど来る事になり、何度も帰ろうと思ったとか、いいことも悪いこともいろいろあった、
 くことなんとかえおもわる
 はなしむずかはなしはなし
 というお話をされた。難しいお話ではなく、わかりやすいお話だった。

ひさせつきようあとしんじやみなはくしゅせつきようあとはくしゅなんねん
 • 久しぶりにお説教の後に信者の皆さんが拍手をした。お説教の後の拍手なんて何年ぶりか
 おもひこきむかしみうらかいがんきょうかいときしんぶ
 など思った。みんな引き込まれるように聞いていた。昔三浦海岸教会であった時も神父
 さまじぶんしょめいはなしたぶんこばやししんぶさまときよおも
 様がご自分の召命の話をされた。多分小林神父様。その時も良かったと思った。

させつのこいまびょうしいませいかつ
 • きっと挫折したりするのを乗り越えて今がある、とんとん拍子に今の生活にいったわけではない、そういうのを感じて拍手がでたのではないか。小林神父様は結構つらい思いをしながらそれを乗り越えて神父になったという話をされたと思う。マリノ神父様もこんな遠くの
 にほんきがんばいましじんはなおもまりのしんぶさまとお
 日本に来て、頑張っていらっしゃって、今があるということが、自然な拍手になったのかもしれない。

じかいたんとうきょうかいかなざわぶんこきょうかいらいねんあききれんらく
 • 次回の担当教会…金沢文庫教会。来年の秋ぐらい? 決まつたら連絡を。

ぜんかいいっぽんしんとかたさんかけきょくいちりゅうかいいいん
 • 前回一般信徒の方にもPRしようということになったが、参加は結局一粒会の委員のみ
 ひつづじかいほになってしまった。引き続き次回もPRしていって欲しい。

かくしようきょうくかつどうほうこく 各小教区の活動報告

ゆいがはまえんだまえんだまけんきんばこけいぞくせいどういぐちまえおちい
 由比ガ浜…1円玉、5円玉献金箱が継続して聖堂入り口前に置かれている。小さい
 こどもたちいひつづおおも
 子供達が入れてくれているので、引き続き置いておこうと思っている。

らいねんいいんかいせんあたらひとみむずか
 来年委員改選なので、新しい人を見つけたい。でもなかなか難しい。

せんしゅうほんぶいいんかいとくべつけんきんしようきょうく
 先週の本部委員会で、特別献金をしているという小教区があった。その
 ぼきんばこもうしまたひつようおもしょくようく
 ように募金箱を持って後ろに立つのも必要なのではと思った。小教区の

きょうかいいいんかい とき ぼきん じっし よ き おも せんきょう ひ しょうめい
教 会 委員会の時に募金を実施して良いか聞こうと思う。宣 教 の日や 召 命
ひ とくべつ ひ ひごろけんきん ひと けんきん
の日など特別の日。そうすると日頃献金していない人でも献金してくれるか

もしれない。

かなざわ こうほうし ねん かい かい いちりゅうかい き じ の いいん
金沢 … 広報誌に年に1回か2回、一粒会の記事を載せている。委員をやってくださ
かた きょうかいかがっこう せいと すく つき
る方もなかなかいない。教 会 学校の生徒も少なくなっているが、それでも月
かいかつどう おも
2回活動しているのはすごいと思う。

ゆきのした めだ かつどう いちりゅうかいたいかい しゅっせき
雪ノ下… あまり目立った活動はしていない。一粒会大会に出席。
みかさ しょうめい いの みさ めーる みな へんしん たす
三笠 … 「召 命 の祈りのミサ」のメールに皆さん返信してくださってすごく助かった。
みな あいさつ

おおつ しゅにんしさい いわましんぱさまふざい おお しゅうかいさいぎ
大津… 主任司祭の岩間神父様不在が多くなりそうだということで、集 会 祭儀の
べんきょうかい はじ いま じっさい かい しゅうかいさいぎ
勉 強 会 を始めた。今まで実際に2回ほど集 会 祭儀があつたが、そのときは
しんがくせい かた かた まか かた いそが
神学生の方がいてくださって、その方にお任せした。しかしその方が忙しくな
たぶん べき べんきょうかい はじ
つたので多分出来ないだろうということで、勉 強 会 を始めた。

また月1回「見よこれはきわめてよかつた」の読書会を始めた。今まで3回あつた
むずか めい ひと さんか
が、なかなか難 し い。10名くらいの人が参加している。

ずし かいほうし いちりゅうかい こと か いちりゅうかい めいさんか さ び え る さい さくねん
逗子… 会報誌に一粒会の事を書いた。一粒会には 6名参加。サビエル祭は昨年
まい くろ ばす だ さんか ことし よてい
マイクロバスを出して参加したが、今年もする予定。
たちく きょうかい だい にちようび いちりゅうかいけんきん ふくろ くば
他地区の教 会 では、第3日曜日に一粒会献金の袋 を配っているというところ
かつどう おも げってい ほか
があり、それいろいろな活動をしているのだなと思った。月定でなくても、他
かた かんが よ おも
のやり方を考えても良いのかな、と思った。

みうらかいがん み さ けんきんはこ えんだま えんだま じどうてき いちりゅうかい まわ
三浦海岸… ミサ献金箱の1円玉、5円玉は自動的に一粒会に回されるが、それだと
えん えん あつ べつ けんきんばこ つく ねん かい きょうかいだより
1円、5円しか集まらないので、別に献金箱を作った。年に1,2回「教会便り」
いちりゅうかい き じ の
に一粒会の記事を載せている。
ほんぶいいんかい たちく かつどう ほうこく き かつどう さか ところ まいとしこうえんかい
本部委員会での他地区の活動報告を聞くと、活動の盛んな 所 は毎年講演会
しんがくせい こうりゅう いの りれー ちく
をしたり、神学生との交 流 をしたり、祈りのリレーをしている地区もある。

じむきょく
④ 事務局より
いちりゅうかいいいん かいせん しんいいん きにゅうひょう ねん がつ にち ほんぶ ていしゅつ
一粒会委員の改選がある。新委員の記入票は2026年1月13日までに本部に提出。
いちりゅうかい けんきん がつ はじ ごろ ほんぶ おく
一粒会の献金は12月の初め頃に本部に送ること。
た

⑤ その他
しつもん わかて下さい あつ ねんれい わか しんぶさま じよかい とし ちか
・質問だが、「若手司祭の集まり」とは年齢が若い神父様なのか、それとも叙階の年が近い
しんぶさま いぜん じよかい ねんない ねんれい さいいない いま しんしさい
神父様なのか? ⇒以前は叙階10年以内、または年齢40歳以内だったが、今は新司祭で
さい こ じよかい ねんない
も50歳を超えていたりするので、叙階10年以内としている。
やすひさしんぶさま
・保久神父様より
しんがっこう けいひ よこはまきょうく しんがくせい かず おお ふたん ふ けんきん
神学校の経費だが、横浜教区は神学生の数が多いので負担が増える。いまの献金では
まかなえなくなってきた。

ししゅつ がくせいひとり ねん まんえん ふつう だいがくせい くら たか おも
支出は学生1人あたり1年250万円。普通の大学生に比べてそんなに高くはないと思う。
もんだい しんがくせい きょうく ぶんたんきん はら ぶんよこはまきょうく ぶんたんきん
問題は神学生のいない教区は分担金を払っていないので、その分横浜教区の分担金
ふ けんきん ねが
が増えてくるということ。これからも献金をよろしくお願ひします。
いちりゅうかいたいかい けんきん しゅうにゅう おお ことし さんかにんずう やく にん けんきんがく
一粒会大会での献金は収入として大きい。今年の参加人数が約800人で献金額は
まんえん らいねん いちりゅうかいたいかい さんかにんずう めい けんきんがく すく
50万円。来年の一粒会大会の参加人数は400名となっているので、献金額は少なく
よそう めい こども しんぶさま のぞ めい
なると予想される。400名でも子供、神父様と除くと300名くらいになってしまう。
されじお がっこう つか い ふたん おお かんそ
サレジオの学校を使っていいと言われているのだが。負担が多いので、簡素にしたいとい
うのはわかる。

たいけん
その他意見
よいてい だいよんちく ねんご ねん たんとう
予定では、第四地区は10年後(2034年くらい)に担当。
じつけんかのう ばしょ てんと ちく ぐっず
実現可能かどうかはわからないが、場所があれば、テントをたてて、地区ごとにグッズをだ
う ちやりていばざー しゅうえき
して売ってもいいかもしれない(チャリティーバザーのようなもの)。そしてその収益を
けんきん
献金してもらうのはどうだろうか。

⑥ 2026年地区委員会
だいいちかい がつ
第一回 5月
だいいにかい がつ
第二回 11月

よこはまきょうく いちりゅうかいだいよんちく いいんかい
(横浜教区一粒会第四地区委員会)

しゅ こうたん やはん みさ
主の降誕(夜半のミサ) 12月24日

